



## 「人間ドックの日」イベント＆健康保険組合・企業向け講演会を開催しました

7月12日の「人間ドックの日」を記念し、当クリニックではソニックシティビル 30 階の入口壁面をフラワーアレンジで彩り、毎年恒例となっている啓発イベント「記念イベント＆フラワーウォール」を実施しました。当日は、受診者の皆さまへ一輪花と扇子をお渡しし、健康への関心をより一層深めていただける機会となりました。



さらに、7月25日にはパレスホテル大宮にて、健康保険組合や企業のご担当者を対象とした講演会を開催しました。新型コロナウイルス流行前以来の久しぶりの開催となった今回、特別講師として日本人間ドック・予防医療学会事務局長の根岸正治様をお招きし、「保険者データの活用が『コラボヘルス』成功のカギを握る ～保険者と事業主、そして健診施設との連携強化～」をテーマにご講演いただきました。また、当クリニック理事長・中川良からは「私たちの目指す最高の人間ドック」と題し、AIを活用した補助診断の導入による、より正確で効率的な医療サービス提供の取り組みについてお伝えしました。

今回の記念イベントと講演会を通じて、多くの皆さまに健康増進と予防医療の大切さを実感していただくとともに、今後も地域と連携した取り組みを進めてまいります。

## 「肺がん検診ガイドライン改訂に伴う当クリニックの取り組みについて」

国立がん研究センターは2025年4月25日、『有効性評価に基づく肺がん検診ガイドライン2025年度版』を発表しました。これは19年ぶりの改訂となります。今回の改訂では、新たに「重喫煙者」に対して、年1回の低線量CT検査を推奨することが明記されました。

※重喫煙者とは「喫煙指数600以上」の方を指し、喫煙指数は「1日の喫煙本数 × 喫煙年数」で計算します。

日本では毎年約12万人が肺がんと診断され、がんの中で2番目に多い罹患数となっています。死亡数は年間7万5,000人以上にのぼり、がんによる死亡の中で最も多いのが肺がんです。肺がんは40歳代から増加し始め、加齢とともに罹患率が高まります。特に、喫煙本数が多い方や喫煙期間が長い方はリスクが一層高まることが知られています。がん全般に共通して重要なのは、早期発見と早期治療です。そのため日本では科学的根拠に基づいた「対策型がん検診」が制度として実施されています。新たなガイドラインでは下記表のとおり肺がん検診の内容が変更となりました。

	これまでの肺がん検診	新しい肺がん検診
たばこをたくさん吸う人 たくさん吸っていたがやめた人	・胸部X線検査 (40～49歳、1年に1回) ・胸部X線に喀痰細胞診追加 (50歳以上、1年に1回)	・胸部X線検査 (40～49歳、75～79歳、1年に1回) ・低線量CT検査 + 禁煙指導 (50～74歳、1年に1回)

当クリニックでは、2009年4月に禁煙外来を開設し、人間ドック受診前の面談にて喫煙者の方へ禁煙の重要性をお伝えし、希望される方には禁煙外来のご案内を行う「禁煙道場」を実施してきました。今回のガイドライン改訂を受け、2025年5月からは新たな取り組みとして、喫煙による肺がんリスクに加え、肺がんの早期発見におけるCT検査の有用性をお伝えし、オプション検査である「胸部CT検査」の当日追加受診を積極的におすすめしています。その結果、多くの方が当日に胸部CT検査を追加して受診されるようになりました。今年度より胸部CT検査が当日追加可能となったことで、受診者にとって選択しやすい環境が整いました。今後は、胸部CT検査を受けられた方のデータを解析し、よりわかりやすい説明や適切な指導へとつなげることで、肺がんの早期発見と予防に一層貢献できるよう努めてまいります。

看護部 梶川 歩美

## 医療連携病院紹介 ～彩の国東大宮メディカルセンター～



彩の国東大宮メディカルセンターは、地域に根差した病院として昭和57年に東大宮駅徒歩数分の場所に「東大宮病院」として開院し、その後、平成27年に現在の場所に移転して、名称も「彩の国東大宮メディカルセンター」となりました。

当院では毎年様々な取り組みを行なっています。令和3年に開始したロボット支援手術では、昨年6月に最新式のダビンチXiに更新したことで更に質の高い手術が行えるようになり、泌尿器科と外科で適応術式を拡大しながら症例数を伸ばして、今年の5月には600症例を超えることができました。患者さんにも大変満足いただいています。

がん診療については、手術だけでなく化学・免疫療法、放射線治療などの集学的治療に取り組んでいます。令和5年に開始した高精度照射は順調に症例数を増やしており、周囲の臓器への影響を抑えた質の高い放射線治療を提供しています。カンファレンスで各分野の専門医が議論することで、患者さんにとってベストな診療を行う体制を構築しています。また、令和5年には「紹介受診重点医療機関」※1に認定されましたが、本年はさらに「地域医療支援病院」※2の認証を目指しています。地域機関の皆様と連携しながら、地域に必要とされる病院として更なる発展をしていきたいと思います。大宮シティクリニック様からは、毎年40例程度の患者様をご紹介いただいています。紹介をいただいている診療科としては、消化器内科、泌尿器科、循環器内科、乳腺外科などですが、今回は乳腺外科の紹介をさせていただきます。

乳腺外科では、安心して乳腺（乳がん）に対しての「標準治療」が受けられることを目標としています。「標準治療」を正しく皆様にお届けすることが最善と考えており、ご家族を含めご本人にとって何が「標準」なのか一緒にご判断させていただきます。外来診療では検診（市検診や企業検診など）で異常を指摘された後の精密検査、乳腺の疾患（良性・悪性）に対しての診断と治療、当院での治療後のアフターケア（ホルモン治療、抗がん剤、定期検査など）等、様々な患者さんに受診していただいております。乳がんの診療については、PET-CTや乳がんの温存術後に施行される放射線治療など、総合的に乳がんの患者さんを診療できる体制です。

乳がんに関して様々な情報がネット上に出っていますが、乳腺には意外と良性疾患が多いです。自分で触っただけでは、良性か悪性かがわからないことがほとんどですので、今までなかった乳房の症状が出てきたら一人で悩まず、まずは乳腺外科にご相談ください。



※1 かかりつけ医等からの紹介状を持って受診いただくことに重点をおいた医療機関。

※2 都道府県知事の承認を得て、かかりつけ医等の医療機関を支援する病院のこと。



健康相談室だよりは当クリニックホームページにも掲載しております。バックナンバーもご覧いただけます。

※ご意見・ご要望等ございましたら、遠慮なくご連絡ください※

ホームページ URL : <https://www.omiyacityclinic.com/>

ご意見・ご感想 : [sodan@omiyacityclinic.com](mailto:sodan@omiyacityclinic.com)

健康相談室

